



第49回 名古屋国際音楽祭

Geong-Jin Cho チョ・ソンジン ピアノ・リサイタル

2015年第17回ショパン・コンクール優勝以来、
世界で活躍し賞讃を受けているチョ・ソンジン。

どのような深化を続けているのか…
2年ぶりのリサイタルが待ち遠しくてたまりません！

PROGRAM

- バッハ
パルティータ 第1番 変ロ長調 BWV825
- シューマン
ピアノ組曲 Op.25
- シューマン
ウィーンの謝肉祭の道化 Op.26
- ショパン
ワルツ集(全14曲)
第14番 ホ短調
第4番 ヘ長調 Op.34-3
第6番「小犬のワルツ」変ニ長調 Op.64-1
第9番「告别」変イ長調 Op.69-1
第7番 嬰ハ短調 Op.64-2
第11番 変ト長調 Op.70-1
第10番 ロ短調 Op.69-2
第3番 イ短調 Op.34-2
第8番 変イ長調 Op.64-3
第12番 ヘ短調 Op.70-2
第13番 変ニ長調 Op.70-3
第5番 変イ長調 Op.42
第2番 変イ長調 Op.34-1
第1番「華麗なる大円舞曲」変ホ長調 Op.18

©Stephan Rabold

5/19 火 18:45開演(18:00開場) 愛知県芸術劇場コンサートホール

S席 9,000円 A席 7,500円 B席 6,000円 U25席 3,000円

※U25席はアイ・チケット(電話)のみの取扱いです。25歳以下で来場時に年齢確認します。(おひとり様1公演につき1枚限り) ※車椅子(S席)のお客様はご購入前にアイ・チケットまで必ずお問合せください。
※入場料金には消費税が含まれております。 ※やむを得ない事情でプログラム内容などが変更になる場合がございますのでご了承ください。 ※未就学児のご入場はご同伴の場合でもお断り致します。

チケットのお求めは
一般発売
11月23日(日・祝)

●アイ・チケット 0570-00-5310 / <https://clanago.com/i-ticket>
●チケットぴあ <https://t.pia.jp> + Pコード 309-518
●ローソンチケット <https://l-tike.com> + Lコード 43455

●芸文プレイガイド 052-972-0430 ●栄プレチケ92 052-953-0777
●e+(イープラス) <https://eplus.jp>
●CBCチケットセンター <https://www.funity.jp/cbc-ticket/>

お問合せ

CBCテレビ 事業部

TEL(052)241-8118 10:00~18:00(土・日・祝日休み)

主催/CBCテレビ 後援/愛知県・中日新聞社・CBCラジオ

最新情報は、CBCテレビのホームページで
ご確認ください。

☐ CBC 名古屋国際音楽祭 検索

CBCテレビ





チョ・ソンジン Seong-Jin Cho

©Christoph Köstlin / Deutsche Grammophon

PROFILE

チョ・ソンジンは、同世代の最前線で活躍するピアニストのひとりとして、また現在の音楽界において特に際立った存在感を持つアーティストとして名を成している。圧倒的な芸術性と生来の音楽性を有するチョ・ソンジンの演奏は、思慮深く詩的で、極めてヴィルトゥオーソ的、かつ色彩豊かである。貫禄と純粋さを兼備する見事なバランス感覚によって生み出される演奏は、その洞察力や魔法のように豊かな表現力とともに世界的な称讃を受けている。

2015年、ワルシャワのショパン国際ピアノ・コンクールで優勝。一躍国際的な注目を集めた。その後急速にキャリアを発展させ、2016年初頭にドイツ・グラモフォンと専属契約を締結。2023年には、クラシック音楽界への顕著な貢献により、韓国のサムスン・ホアム賞(芸術部門)を受賞。

世界屈指のオーケストラと共演も数多く、ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、ロンドン交響楽団、コンセルトヘボウ管弦楽団、ボストン交響楽団などに登場している。指揮者では、チョン・ミョンフン、グスターボ・ドゥダメル、アンドリス・ネルソンス、ヤニック・ネゼ＝セガン、ジャンドレ・ノセダ、サー・アントニオ・パッパーノ、サー・サイモン・ラトル、サントゥ＝マティアス・ロウヴァリ、エサ＝ベッカ・サロネン、ラハフ・シャニラと共演を重ねている。2024/25シーズンには、ベルリン・フィルのアーティスト・イン・レジデンスを務めた。

2025/26シーズンには、ロンドン交響楽団の「アーティスト・ポートレート」に迎えられ、協奏曲演奏や東欧・中欧ツアー、室内楽公演、LSOセント・ルークスでのリサイタルなど、シーズンを通して多彩なプロジェクトに取り組む。なかでも注目されるのは、チョ・ソンジンのために委嘱されたシン・ドンフン作曲の新しいピアノ協奏曲の世界初演である。そのほか、ホーネック指揮ピッツパーグ交響楽団とのカーネギーホール公演、ネルソンス指揮ボストン響、ドゥダメル指揮ロサンゼルス・フィルとの再共演、またチェコ・フィル(ビショフ指揮)との台湾・日本ツアー、ミュンヘン・フィル(シャニ指揮)との

韓国・日本・台湾ツアー、ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管(ネルソンス指揮)とのヨーロッパツアー(2025年秋)でも活躍している。

リサイタルでも国際的に高い評価を得ており、コンセルトヘボウ(アムステルダム)、ウィーン楽友協会、旧オペラ座(フランクフルト)、KKLルツェルン、サンタ・チェチーリア音楽院、シャンゼリゼ劇場、ルドルフィナム、サントリーホール、ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノ音楽祭、カーネギーホール、ヴェルビエ音楽祭など世界有数のホールやフェスティバルに出演している。2024/25シーズンには、ラヴェル生誕150周年を記念し、ピアノ独奏作品全曲をウィーン・コンツェルトハウス、ハンブルク・エルブフィルハーモニー、ロンドン・バービカン・センター、ボストン・シンフォニーホール、ウォルト・ディズニー・ホール、カーネギーホールなどで披露した。2025/26シーズンにも、リサイタルの演奏で日本ツアーをはじめ世界各地のホールに登場する。

最新録音はドイツ・グラモフォンからリリースされたラヴェルのピアノ作品(ソロ・協奏曲)全集。初めてひとりの作曲家の全作品に取り組んだプロジェクトであり、ピアノ独奏曲は2025年のオーパス・クラシック賞「年間最優秀器楽奏者部門」を受賞している。これまでに「ヘンデル・プロジェクト」(2023年)、ノセダ指揮ロンドン響とのショパン:ピアノ協奏曲第2番とスケルツォ集(2021年)、「さすらい人」(2020年)、ネゼ＝セガン指揮ヨーロッパ室内管とのモーツァルト・アルバム(2018年)、ドビュッシーの作品集(2017年)などをドイツ・グラモフォンからリリースしており、そのすべてが世界中で批評家から絶賛されている。

1994年ソウル生まれ。6歳でピアノを始め、11歳で初めて観客の前でリサイタルを行う。2009年、浜松国際ピアノコンクールで史上最年少優勝。2011年、17歳でチャイコフスキー国際コンクール第3位受賞。2012年から2015年まで、パリオ国立高等音楽院にてミシェル・ペローフに師事。現在はベルリンを拠点に活動している。

第49回 名古屋国際音楽祭 2026年3月15日(日)～6月26日(金)

会場 3/15・4/5・4/19・5/19・5/29・6/5・6/21:愛知県芸術劇場コンサートホール | 6/26:愛知県芸術劇場大ホール

3/15(日) 五嶋みどり with ルツェルン・フェスティバル室内管弦楽団
15:00 開演

4/5(日) イム・ユンチャン ピアノ・リサイタル
15:00 開演

4/19(日) 名古屋国際音楽祭 ガラ・コンサート
15:00 開演

5/19(火) チョ・ソンジン ピアノ・リサイタル
18:45 開演

5/29(金) フランス放送フィルハーモニー管弦楽団 × 藤田真央
18:45 開演

6/5(金) 久末 航 ピアノ・リサイタル
18:45 開演

6/21(日) ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団 × 亀井聖矢
15:00 開演

6/26(金) ハンガリー国立歌劇場 モーツァルト:歌劇「魔笛」
18:30 開演

※やむを得ない事情により、出演者、曲目等が変更になる場合がございます。公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットの、キャンセル・変更等はできません。

※いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。※開演後の入場については、入場制限をさせていただきます。